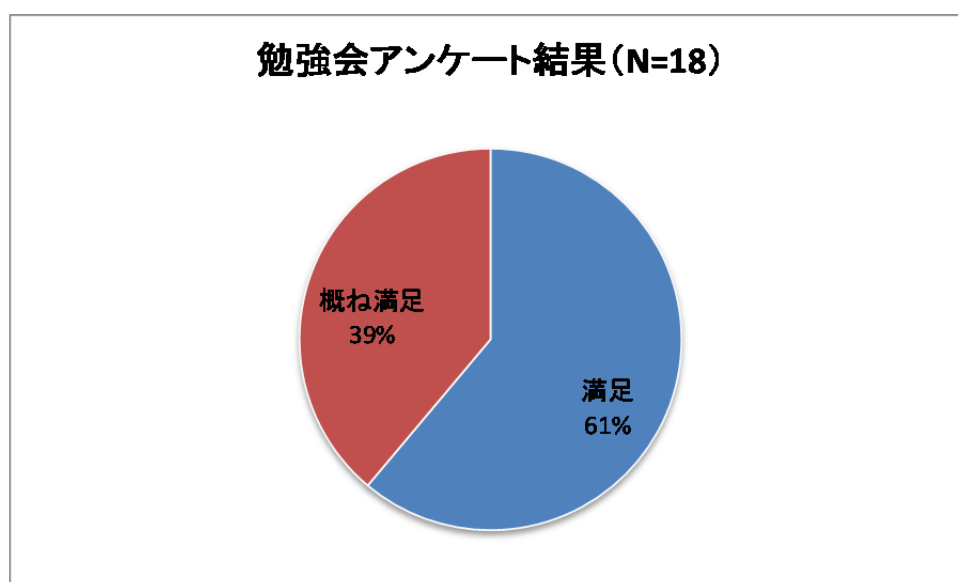


アンケート結果

参加者アンケートの回収数は 18 通でした。参加者のうち、講師および前方にいたスタッフ 4 名を除く参加者は 22 名ですので、回収率は 81.8%でした。

結果ですが、「満足」及び「概ね満足」が占める割合は 100%でした。満足した点として、米国の IR 業務の実状を知ることができたこと、IR に対する日米の考え方の違いが理解できたこと、コスト意識や費用対効果を考慮して大学経営に活かしていること、などが挙げられていました。また、残念だった点としては、講演や質疑応答の時間が不足したこと、米国や国内における IR の導入事例を知りたかったこと、などが挙げられていました。

今後取り扱って欲しいテーマとしては、データベースの構築・システム設計の事例、ラーニングアウトカムや教育研究力等を測る指標、国内における IR のグッドプラクティスの紹介、などが挙げられていました。また、その他ご意見等として、当日の資料としてレジュメ程度があれば良かった、今回の進行スタイルは勉強会の趣旨に合っていた、などがありました。



アンケート結果の詳細については、以下のとおり。

参加者アンケート

満足度	選択理由(5満足～1不満足)	今後取り扱って欲しいテーマ・内容等	その他ご意見・ご要望等	
①満足	最近のIRの議論は、「教育の質」に焦点化されたものが多かったが、本日はコストとの関係の話題があり、参考になりました。私たちのIRの参考になる内容でした。			私
①満足	実践レベルでのIRの解説は明解でした。リアルなIRの理解から日本型IRがどのように根付くか、自分なりに考えて”使えるIR”をつくっていききたいと思います。まずは学部マネジメントレベルのツールとしてスタートしていききたいと思います。			私
①満足	非常にアメリカのIR事情を知ることができました。ありがとうございました。	IRデータベースの構築、システム設計の事例、指標例などの共有ができれば幸いです。		私
①満足	普段聞くことのできないアメリカの現状を知ることができました。日本と何が一緒に異なるのか、理解が進みました。質疑応答の時間が十分にあり良かったです。			私
①満足	日本のIRは教学や大学評価対応が多く、コスト意識や費用対効果で考えているIRは、まだほとんど見られない。(日米の違いが原因だろうが。)それらの在り方についての示唆を得られたことが収穫であった。米国に行って改めて話をききたいくらいです。		米国のIRの話はいつも刺激的です。ありがとうございます。	国
①満足	米国の実践例が詳細に聞けて大変よかった。日本と米国の考え方の違い、大学経営の考え方の違いが理解できた。			私

①満足	アメリカの小規模なIRオフィスの業務の様子がよく分かったから。また、実際にIRオフィスを導入しようとするための視点を獲得することができたから。		時間がおしていたこともあってやむを得ない面もあるが、後半が駆け足になってしまった感じもした。(2回目の休憩時間がもう少しあってもよかったと思う。)	国
①満足	IRの現場の状況を詳しく説明いただき、ありがとうございました。想像していたものとはかなり違っていたので、もっと詳しく知りたいと思いました。日本も今後はCost Effectiveの感性を強めないといけないのかなと思います。			私
①満足	貴重な情報を聞かせていただいて非常に勉強になりました。	・ラーニングアウトカムの指標 ・大学内の教育研究力を測るための指標	京都でやっていただけると近くて助かります。	国
①満足	米国での実務、IRの使われ方を学ぶことができたから。		当日配布の資料がもう少しあると思っていた。PPTが後日配布な分、レジュメ程度は欲しかった。	国
①満足	実際の米国におけるIR業務を大変臨場感を持って語っていただきました。結果的に時間が不足してしまいましたが、ご用意いただいた事例等ももっとお聞きしたかったです。やはりシステムティックに出来ないという意味も半減してしまいますね。まだまだ課題も多いですが、やれることからやっています。ありがとうございました。		お世話になりました。貴重な勉強と刺激を受ける機になり、色々考えさせられました。今後ともよろしく願います。	私
②概ね満足	IRオフィサーの具体的業務が伺えたこと(立場等)			
②概ね満足	州立大学のIRの概要がよく分かりました。日本で参考になるかどうかは、はっきり分かりませんでした。現在のアメリカの情勢も少し分かりましたので、ありがとうございました。			私
②概ね満足				私
②概ね満足	日本国内の大学での導入について、もっと詳しく知りたかったが、それ以外は大変参考になりました。	日本国内でのIRの実践例、成功例など	ありがとうございました。	国
②概ね満足	講演会運営等、ありがとうございました。IRそのものについて考えるきっかけとなりましたし、興味深いデータベースを拝見することができ、よかったです感じています。	・国内のグッドプラクティス(IR)について、お話を伺えると参考になると感じます。 ・大学評価・学位授与機構等、大学を横断する存在としての組織の立場から、大学を横断するデータベース等(ポートレート等)について議論する場(オフィシャルでないもの)もよいかもしれません。	この進行のスタイルは、会の趣旨に沿っており、適切であったと感じます。(途中で質問スタイル)	
②概ね満足	IRに関する米国の情報が、発言者の立ち位置によって異なることが良く理解できた。			
②概ね満足	米国での状況だけでなく、実例を示していただき、とても参考になりました。			

※属性について 国：国立大学、公：公立大学、私：私立大学、関：関係機関

(寫田 [茨城大]、大野 [鳥取大])

